

会員発表3題・米田 實先生がご講演

第48回愛知県柔道整復学会・第80回会員研修会

7月7日(日)午前10時から12時まで、愛整会館講堂にて第48回愛知県柔道整復学会・第80回会員研修会が開催され、勤務柔道整復師7名を含む261名が学術の研鑽を積んだ。

第48回愛知県柔道整復学会

1. 肘内障の超音波画像観察 佐藤隆史会員(中村)

肘内障3症例に対し徒手整復前後のBモード超音波画像を比較観察し、輪状靭帯・関節包・回外筋の形態と位置が変化することを提示。転倒し手をついた際に起こる、牽引外力以外の発生メカニズムと整復法について考察した。



2. 高齢者福祉施設で調査した歩行杖の使い方についての報告 木村 実会員(刈谷)

高齢者福祉施設の機能訓練利用者のうち、杖を使用している41名に対し、利き手と杖の持ち方、杖の種類や使用目的、床から大転子までの高さなどを調査し、その結果を報告。杖歩行の安定性を高めるには、握力と大腿四頭筋筋力強化の機能訓練が重要であると訓練内容を紹介した。



3. 足関節捻挫の競技復帰に対する機能評価と運動療法の紹介 西村武蔵会員(岡崎)

軽度足関節捻挫の9名に対し、既存の運動療法を工夫した丸太歩行・足趾グリップ立ち・片脚立位バランスの3つの運動療法を行ない、初検時と競技復帰後に機能評価を実施。固有受容感覚に着目した運動療法の組み合わせや訓練で足趾接地を意識させたことが評価結果の改善に有用であり、この機能評価が競技復帰の指標となり得る可能性を示唆した。



Welcome!! 新入会員

氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
荒島園代	S43.7.30	豊橋	米田柔整	初段	映画鑑賞
鈴木有紀	S58.9.28	刈谷	米田柔整	-	お酒

荒島園代会員

当院のシンボルツリーの「パキラ」と一緒に……
「パキラ」の花言葉「快活」を目指して、いきいきと活発に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたしますm(_)_m



鈴木有紀会員

第80回会員研修会

会員研修会では、「MRI・エコーで運動器の診療はどう変わってきたか」を主題に、「早期に見つければ治る腰椎分離症と早期リハで手術に負けなくなってきたアキレス腱断裂保存療法」を副題として、医学博士 米田 實先生(特定医療法人 米田病院 理事長・院長)にご講演を頂いた。

MRIとエコーの長所や短所を紹介されたあと、3.11以後とくに放射線被曝に対して世間の目は厳しいものとなっているので、CTなどの放射線機器の取扱いには十分な配慮が必要であると述べられ、副題である腰椎分離症とアキレス腱断裂についてCTやMRI、エコーの画像を提示し最近の知見を詳しく解説された。



愛知 4年ぶりの優勝

少年形競技会も制す

第32回東海ブロック会柔道大会
第10回柔整師杯東海少年柔道選手権大会
第3回東海少年形競技会



7月21日(日)県武道館にて、日本柔道整復師会第32回東海ブロック会柔道大会・第10回柔整師杯東海少年柔道選手権大会・第3回東海少年形競技会が開催された。

少年の大会は午前10時30分より始まり、各県の小学4年から6年男女、合わせて96名が参加して、学年別・男女別のトーナメントでの試合が行われた。本県からは4月14日の柔道大会で入賞した選手たちが出場し奮闘した。しかしどの学年でも優勝を果たすことができず、6年男子で杉江凌雅君が準優勝となるも、4年男女4名と5年女子2名、5年男子2名が3位に入賞するに留まった。来年の奮起を期待したい。

少年大会終了後の少年形競技会は、東海東部と東海西部それぞれで、日整大会の代表を決めるために行なわれた。愛知県は6月16日の競技会優勝の半田支部・萩田紗安香さん(取)と耕一君(受)の姉弟チームが静岡チームと技を競い、見事東海東部代表の座を射止めた。



午後2時からの会員の大会には、春日井和幸監督率いる本県チームは次の5選手が出場し、他3県とのリーグ戦を戦った。

大将・石田雅明(七段)、副将・月野義明(五段)、中堅・高塚 剣(五段)、次鋒・石黒貴彦(参段)、先鋒 浅井友哉(参段)

初戦の静岡には2対1、2戦目の岐阜には2対0、3戦目の三重にも2対0で3連勝を果たし、4年ぶり16回目の優勝を見事に勝ち取った。優秀選手には3勝の石田選手と2勝1分けの石黒選手が選ばれた。

日整大会には、石田・石黒・浅井会員が静岡2選手とともに出場する。また、日整大会5回以上出場選手として榎本好根会員が表彰を受けた。

東海市で介護予防事業契約



佐野 恵代表と市介護予防担当

東海市と本会との間で介護予防事業「運動器個別運動指導」の委託契約を締結した。委託期間は7月1日から来年3月31日までで、サテライト方式の訓練に東海市の会員15名が参加する。

鈴木昭二 元理事ご逝去

長年本会に尽力された鈴木昭二元理事(刈谷)が、6月24日、他界された。享年87歳だった。昭和63年から4半世紀の長きにわたって理事を務め、本会の重鎮として活躍された。平成10年には県知事表彰、平成16年には医療功労賞を授与されている。

平成23年、病を期に理事職を辞し病氣療養に専念されたが、薬石効なくこのたび鬼籍に入られた。

6月25日・26日、刈谷市のイズモ葬祭セレモニーホール貴賓館にて、通夜・告別式がしめやかにいられ、多くの会員・役員がお別れを告げた。



平成16年早春
医療功労賞祝賀会
ホテルグランド
ティアラ安城にて

東海形競技会で3会員が活躍

6月30日(日)、県武道館において東海柔道形競技会が開催され、投の形で神谷昌利会員(五段・受・鶴舞)、極の形で夫馬喜久治会員(六段・取・一宮)・春日井和幸会員(五段・受・大曾根)が優勝した。



神谷会員



夫馬会員



春日井会員

また石田雅明・真由美会員(鶴舞)のご息女・真理子さんも柔の形で優勝した。

各優勝チームは9月23日に講道館大道場で行なわれる全日本柔道形競技大会に出場する。